

第30回科学者委員会議事要旨（メール審議）

1 議決日 平成25年9月24日（火）

2 審議内容

提案1 地区会議の学術講演会について

（1）中部地区会議学術講演会の開催について

（11月20日（水）、名古屋大学で開催、別添資料）

（2）近畿地区会議学術講演会の開催について

（12月15日（日）、京都大学で開催、別添資料）

3 結果

提案1について原案のとおり承認され、幹事会に提案されることとなった。

平成25年度日本学術会議中部地区会議主催
学術講演会の開催について

記

1. 主催 日本学術会議中部地区会議
2. 共催 名古屋大学
3. 日時 平成25年11月20日(水) 13:00~16:00
4. 会場 名古屋大学(名古屋市千種区不老町)
5. テーマ 未定
5. 次第
 - (1) 13:00~13:10 開会挨拶
濱口 道成(名古屋大学 学長)
 - (2) 13:10~13:20 主催者挨拶
巽 和行(日本学術会議中部地区会議代表幹事、
名古屋大学物質科学国際研究センター特任教授)
 - (3) 13:20~13:30 科学者との懇談会活動報告
丹生 潔(中部地区科学者懇談会幹事長)
 - (4) 13:30~15:55 学術講演会の演題及び演者
 - ・講演「未定」
家 泰弘(日本学術会議副会長、東京大学物性研究所 教授)
 - ・講演「創薬とヒトの分子レベルからの理解を目指して」
藤吉 好則(名古屋大学大学院創薬科学研究科 特任教授)
 - ・講演「未定」
町田 健(名古屋大学大学院文学研究科 教授)
 - (5) 16:00 閉会挨拶
未定

平成25年度日本学術会議近畿地区会議主催
学術講演会の開催について

記

1. 主 催 日本学術会議近畿地区会議、京都大学
2. 共 催 未定
3. 後 援 未定
4. 日 時 平成25年12月15日(日) 14:00 ~17:30(予定)
5. 場 所 京都大学芝蘭会館稲盛ホール(京都大学医学部構内・京都市左京区吉田近衛町)
6. 概 要 (テーマ)
環境といのち - 智慧なすわざの再生へ

(開催趣旨)

地球環境が大きく変動するなかで、気候、生態系、水環境などの変動を全体として把握し、共生を念頭にして地球規模での持続可能性を考える動きも出ています。これは自然科学にだけ限られた課題ではない。持続可能な社会の実現のために、人間中心主義の発想への反省や、自然・人間・文化の関係の見直しなど、文理融合的な発想に依らなければ、課題解決に至らない。山川草木すべてに宿る「生」、「いのち」とどう向き合うか、人類には何ができるのか、また、何を為すべきかなど、本講演会では、環境や生き物のいのち、人間の課題などについて、智慧なすわざの再生に向けて、地球環境学、環境宗教学、薬学それぞれの立場からの講演を通して、人類の描くべき未来のデザインについて考える端緒を提供することを目的としている。

7. 次 第

開催挨拶 日本学術会議近畿地区会議代表幹事

橋田 充(京都大学大学院薬学研究科教授)

講演1 「人間にとって地球とは何だろうか？」

安成 哲三(日本学術会議第三部会員、

人間文化研究機構・総合地球環境学研究所所長)

講演2 「草木国土の声を聴く」

岡田 真美子（日本学術会議連携会員、兵庫県立大学環境人間学部教授）

講演3 「『自然・人間・文化』と薬」

伊藤 美千穂（日本学術会議連携会員、京都大学大学院薬学研究科准教授）

閉会挨拶 調整中

※企画 鈴木 晶子（日本学術会議第一部会員、

京都大学大学院教育学研究科教授 ）